



令和5年5月発行 No.5-9
埼玉県川越家畜保健衛生所
電話：049-225-4141
FAX：049-226-9653
緊急携帯 090-7191-3473
Eメール：r254141@pref.saitama.lg.jp
(夜間、土日祝祭日は緊急携帯に転送)

家畜衛生だより

牛サルモネラ症に注意しましょう！！

牛サルモネラ症は、暑熱で牛の免疫機能が低下し、気温上昇により環境中の細菌汚染濃度の高まる、夏から秋にかけて発生が増加します。

■原因菌

Salmonella enterica subsp. *enterica* (多くの血清型がある)

※*Salmonella* Dublin、*S. Enteritidis*、*S. Typhimurium* の3種類いずれかの血清型による感染の場合には、家畜伝染病予防法の**届出伝染病**。

■症状

【子牛】○発熱：40～42℃ ○肺炎、関節の腫脹がある場合も
○下痢：悪臭のある黄色下痢便、悪化すると粘血便
※1～4週齢で症状が激しく、死亡率が高い。

【成牛】○元気消失、食欲不振 ○発熱 ○乳量減少
○下痢：悪臭のある泥状～水様便。悪化すると血便となる。
※分娩後が最も発症しやすく、悪化すると死亡することがある。



■予防対策

- ① 出入りする車両の消毒
- ② 導入牛は3週間ほど隔離し、異常が無いかを確認後に牛群に導入する。
- ③ 野生動物対策 (飼料や敷料が野鳥の糞尿で汚れていませんか?)
- ④ 専用の長靴・作業着を着用し、作業後は洗浄する。
- ⑤ 各所に消毒槽を設置し、長靴を消毒する。
- ⑥ 牛舎、作業機械、飼槽、水槽、カーフハッチ等の定期的な消毒。

熱湯や消毒薬で殺菌できます。汚れ(有機物)を落としてからの消毒が効果的です。

- ⑦ 牛舎内作業をした後は、手指をよく洗う (サルモネラは人にも感染します)。

万が一発生した場合は、発生を長引かせないため速やかな対応が必要です。
下痢や発熱等、異常が見られたら、家畜保健衛生所に御連絡ください。